

活動日（タケノコ掘りと市民への配布）



令和5年4月9日（日）会員、団体会員とその家族など44名が参加。先に残すタケノコを明示してその他を掘る。朝から並んだ市民は例年より多く、足りそうにないので他からも補充して約200名に

300本を配った。その後休憩所に戻って女性会員が炊いてくれたタケノコご飯を頂く。会員には掘ったタケノコ2〜3本が配られ持ち帰った。【写真：竹林の外に並んだ市民にタケノコを配る】

二川小3年生校外学習支援



令和5年5月9日（火）、会員7名、二川小3年生、教諭他91名が参加。テーマは「岩屋緑地の自然を知ろう」。休憩所と池周辺で見つけた木や草花、昆虫などを観察しスケッチブックに描く。後半にはス

ケッチそのけでサクランボ狩り、タケノコ探し、カブトムシの幼虫探しに走り回っていた。【写真：芝生の中で見つけた小さな花をスケッチする子供たち】

飯村小4年生「岩屋緑地を学ぶ会」支援



令和5年6月6日（火）、会員6名、飯村小4年生、教諭133名が参加。始めに会員から緑地のこと、会のことを聞いた後、クラスごとに会員の案内で岩屋緑地を見て回る。休憩所、器具庫の中を見学、コ

ナラ植樹地とときのこの栽培地を見てから「四季ときめきの森」へ。活動場所ではその内容の説明を聞いた。【写真：コナラ植樹地で説明を聞く子供たち】

活動日（コナラ伐採後の萌芽の剪定）



令和5年9月17日（日）、会員13名が参加。昨年11月に伐採したコナラの切り株から萌芽した枝が成長してきた。枝数を減らして成長させるため1株から4〜5本の元気

そうな枝を残して剪定した。昼前までには30本全ての剪定を終えた。今後は3本、2本と順に減らして立派なコナラに成長させる。【写真：この元気な萌芽から4〜5本を残して剪定する】

花交流フェア2023に出店



令和5年5月3日と4日の祝日、豊橋公園で行われた花交流フェア2023にクラフト体験で出店し、それぞれ会員10名が参加した。今年は会期が2日に短縮され、ステージが無いので賑

わいや盛り上がりには欠けていた。我々が出店するテントではガリガリトンボづくりと木の名札づくり押し花の葉づくりを行った。【写真：名札づくりをする介護施設の人たち】

活動日（㈱アーレスティと協働、高校生参加）



令和5年6月4日（日）会員など44名が参加。㈱アーレスティとの協働の日であるが、アーレスティが支援している浜松商業高校サッカー部も参加した。趣旨はボラ

ンティア活動に参加したいが、何が出来るか現地を見て体験してからとのこと。役員に案内されて活動状況を見て回り、後半には会員と一緒に作業も体験した。【写真：岩屋緑地のフィールドを見て回る高校生たち】

飯村小4年生「オリエンテーリング」支援



令和5年6月28日（水）会員15名、飯村小4年生、教員135名が参加。グループごとに作戦を立てたコースを目指して出発。水筒と探検バックを肩に掛け、問題用紙を持ち、リーダーが

手にした緑地の地図を見てポイントを探す。回るのは社会探検、自然観察の8ポイント9か所。ポイントでは会員が問題の解説をした。【写真：小淵志ちの解説を聞く子供たち】

きのこの観察会



令和5年9月30日（土）きのこの観察会が行われ会員5名が参加した。講師はきのこアドバイザーの西川会長。始めの30分は座学。その後森を1周してきのこ

を観察し写真を撮り採取する。持ち帰ったきのこは休憩所内で同定。ミカワクロアミアシイグチ、クロタマゴテングタケやベニイグチなど16種が見付かった。【写真：採取したきのこを同定する西川会長たち】